

## 平成 19 年第 2 回定例会議決結果

議 案	付託 委員会	本会議 の結果	市 政 II	市 フ 8	公 明 5	共 産 3	生 ネ 3
-----	-----------	------------	--------------	-------------	-------------	-------------	-------------

### ★ 主な議案（他に、1 件）

府中市市税条例の一部を改正する条例	総務	可決	○	○	○	○	○
府中市都市計画税条例の一部を改正する条例	総務	可決	○	○	○	○	○
府中市文化財の保存及び活用に関する条例	文教	可決	○	○	○	×	○
府中市乳幼児医療費助成条例の一部を改正する条例	文教	可決	○	○	○	○	○
府中市立図書館条例の一部を改正する条例	文教	可決	○	○	○	○	○
府中市民保養所条例の一部を改正する条例	厚生経済	可決	○	○	○	×	×

### ★ 主な陳情・請願（他に、継続審査案件 5 件）

朝日町 1 丁目地内大規模開発予定地沿道での歩道設置に関する陳情	建設環境	継続	×	△	△	△	△
ごみ収集システムの検討にあたり、十分な市民参加を求める陳情	建設環境	継続	△	△	△	△	△

### （全員協議会）

府中市のごみ処理の状況等について ※	全員 協議会	聞き 置く	△	△	△	△	△
--------------------	-----------	----------	---	---	---	---	---

※ 全員協議会は 6 月 21 日の最終日、定例会終了後に開かれました。この中で、市長からダストボックスの撤去を含む、ごみ減量施策に関する方針の表明が初めて議会に対してなされました。市からの報告については、余程のことがない限り通常は「了承」されますが、今回は「了承」とはせず、「引き続き協議をする」という異例の形になりました。

5 月の臨時議会、6 月の定例会において、次の職に就きました。

- ・ 文教委員会副委員長
- ・ 再開発特別委員会委員
- ・ 民生委員推薦委員会委員
- ・ 総合計画審議会委員（留任、7 月まで）

府中市議会議員・府中の元氣

# 杉村康之



ご意見ご声援をよろしくお願いします！

事務所◆府中市栄町 2-14-21-101  
TEL◆042-335-0097 / FAX◆042-361-9856  
Email◆sugimura@sea.sannet.ne.jp  
URL◆http://www.fuchu21.gn.to  
郵便振替◆00150-1-102251(フリーダムネット)  
銀行口座◆みずほ銀行府中支店 貯 4572242



府中一新、日本一新。

# フリーダムネット

No.25 2007.7

< 6 月議会報告 >

## ごみ箱撤去に、待った！

6 月議会では、今後のごみ処理のあり方が大きなテーマとなりました。

6 月 1 日 建設環境委員協議会

市から、府中市のごみ処理の状況等について報告。  
協議の後、全議員からなる全員協議会の開催を決定。

6 月 5 日・6 日 定例会の一般質問

私を含め 4 人の議員がごみ処理について質問。

6 月 19 日 建設環境委員会

市民からの「ごみ収集システムの検討にあたり、十分な市民参加を求める陳情」を審議。継続審査となる。

6 月 21 日 全員協議会（定例会終了後開催）

市長からごみ箱撤去を含めた方針の表明を受け、5 時間  
にわたり協議。引き続き協議すると結論する。

テレビ・新聞ではあたかも「撤去」が決まったかの報道がありますが、市議会では未だ了承されていません。拙速な結論は避け、今後市民の声を十分に聞きながら決めていくという意味から、議論を継続することになりました。

私も、一般質問と全員協議会の場で発言しました。ぜひ、皆様のご意見をお聞かせください。

発行所：市民フォーラム 〒183-8703 府中市宮西町 2-24

## ごみ処理の考え方について 6/5 一般質問より

杉村 (ごみ箱撤去も含めて)市から初めて提示があったが、情報が余りにも少ない。これだけでは賛成とも反対とも判断できないので、質問する。  
予定より早く二枚橋の焼却場が閉鎖されたが、ここで処理されていた21,000トンのごみは今後どう処理されるのか？

環境安全部長 家庭ごみ21,000トンは多摩川衛生組合で全域処理される。その代わり、多摩川で処理していた事業系可燃ごみ5000トン、プラスチック系残渣6000トンなどを埼玉県で緊急的に別途処理する。

杉村 ごみが溢れるという事態にならず、大変感謝している。緊急とのことだが、別途処理は期限付きか？

環境安全部長 特に期限はないが、経費がかなりかかるので、短期間のうちに多摩川衛生組合で処理できる体制づくりが肝要だろうと思う。

杉村 多少経費はかかるが、もう少し議論をする時間はあると受けとめる。  
次に、アンケートではごみの有料化に市民の7割の賛意が見られるが、ボックス撤去まで結論するには無理があるのではないか？

環境安全部長 有料化するとした場合、施策の実効性を考えると、収集は戸別収集となり、結果としてダストボックスは不要となるのではないか。

杉村 有料化と戸別収集とボックス撤去が3点セットだと、市は結論を得ているかもしれないが、アンケートで有料化に〇はつけたが、ボックス撤去まで考えていないという人もいる。市民の声をあらためて聞く必要はないか？

環境安全部長 様々な形で市民の声を十分に伺うことが必要。基本的な考え方をきちんと整理し、進めるべきものと認識している。

杉村 次に、不法投棄対策としてカギの取り付けは難しいというが、理由は？

環境安全部長 カギをかけると利便性が減少するので、自治会でも苦慮しているとの話も聞く。すべてにかけるとなると様々なご意見もあり、難しい。

杉村 ごみ箱がなくなる方が、よほど利便性がなくなる。カギのことだけでなく、全体の議論として、カギの取り付けについて話をしていく方がよい。私は、カギの取り付けは効果があると思う。やってみたらいいんじゃないか。  
選挙も通じて様々な話を聞いた。有料化はやむを得ないがごみ箱は維持してほしいというのが一番多かった。そういうこともやってみればいい。  
すべてやったけどなかなか減らないというのであれば、「撤去」という結論もあるかと思うが、まずできることをやってみる、あるいはもう少し議論をするという余裕がほしいと思う。

## 「府中のゴミ箱は、府中市民の議論で、時間をかけて決めましょう。」(←市議選の公約)

今回の質問でわかったことは・・・

- ・緊急とは経費の問題。時間的な余裕はあること。
- ・市民の声を聞くとはいうものの、有料化＝ボックス撤去を前提に市民に説明してまわろうという市の姿勢。
- ・カギの取り付けが難しいということに、理由らしい理由がないこと。



議会の発言には回数制限があるので、今回はここまで。

引き続き折衝を重ね、9月議会でも発言してまいります。私の考えは、「ボックスを維持しながらの有料化」と「カギの取り付け」を、まずやってみるということ。これでかなりごみは減量できると思います。

## 被災建築物応急危険度判定制度について

杉村 今後の課題、方針は？

都市整備部長 ボランティアを派遣するまでに至った経験がなく、直ちに集合をかけるための連絡網に懸念がある。今後は連絡体制を整備するとともに、迅速かつ的確な判定活動が行えるよう模擬訓練の実施等に努める。

杉村 制度自体が一般にはまだ知られていないので、現場ではやりにくかったとき。この制度のPR、あるいは連絡体制の訓練という目的で、毎年行われる市の総合防災訓練に加えることはできないか？

都市整備部長 この制度のことをあらかじめ市民に周知しておくことが大事だが、その一環として、総合防災訓練場にコーナーを設けて制度を紹介することはいい機会であると考え。ボランティアの参集訓練や交流の機会にもなるので検討したい。

## 震災後の二次災害を防止するために

この制度は、阪神・淡路大震災の経験を踏まえて創設された制度で、地震によって被災した建物の危険度をあらかじめ登録されたボランティアの専門家が判定し、二次災害を防止しようというものです。

一般にはまだ知られていないため、総合防災訓練でのPRを提案しました。